

慰問品のお店

——誘導保育の主題——

附屬幼稚園 安村 ぶさ

平時ならば暮の大賣出しに、街も、幼稚園も賑はふ頃でございませうが、今年と同じ大賣出しにしても時局向きものを、かうした遊びを致してみませう。

事變下の子供達は、兵隊さんに對する感謝の生活の中に育つたのでございまして慰問袋を知らないさか、お送りした経験がない等ご申すものは殆どございませぬ。慰問袋の事は、屢々話合ひの話題となり、又童話の中に出て來て、十分な知識を持つてゐるのでございませう。

或る日、やはり、さうした童話のあいで、今戦地にお送りすれば丁度お正月頃に着くのです等さいつた事から、皆で子ごもの慰問袋を作らうさいふ事になりました。早速、内容の相談になりました、畫、貼繪、お人形、飛行機、繪本、罐詰類、キャラメル、その他、おもちや等、自分達の経験をもよにしたものが發表されました。かうした子供達の答を整理して、大體次の十種を作ることに相談がまよまつたのでございませう。その中のあるものは組中のものが一

つづつ作り、又あるものはグループで分擔して、協同して作ることに致しました。そして出來た品物は一旦お店に出します。品物が豊富になつたなら、このお店から各自好きなものを買ひ入れて、慰問袋を作るわけでございますが、その中で實際に慰問品となるものは、本當の慰問袋に入れてお送りする事に決めました。作り方は皆申すまでもないもの許りでございませうが、あらましを述べてみます。

(一)罐詰 糊の空罎を利用します。レットルは畫用紙又は葉半紙でよく、糊の罎の高さに糊代をつけたもの、上下の圓形の部分に貼るもの二枚が要ります。横の部分に自分の好きな罐詰の繪を描かせ、上下は夫々罐詰らしく致します。尚、罎の上下が罐詰らしい模様のもは却つて、そのまゝの方が良い。又蓋をあく様にして中に其の罐詰のものを作り入れておくのも面白いと思ひます。

(二)小箱利用の食料品 化粧品の空箱又は小さい箱を夫々の形に應じて面白く利用し、お茶、海苔、梅干、氷砂糖

等のレッテルの繪を描いて貼りつけます。キヤラメル等は實物の空箱を利用して良いが、レッテルでさう見せても面白いものが出來ます。

(3) 便箋 丁度有合せの藁半紙用のものがありましたのでそれを利用してしましたが、普通の藁半紙でしたら半分か四分の一位にして用ひます。隅又は周圍に繪を描き出來たらゝゝの筋を引かせる三立派なものになります。繪を描いた後は上部から一厘位の所にミシンをかけ、その上を全部糊で貼り、表紙をつけ、綺麗な紐で結びます。一人五枚位が適當かと思ひます。

(4) 封筒 長封筒、角封筒等形を與へ、それに圖案を描かれます。

(5) こま 圓形こま、角こま等種々ありますがどれも面白いと思ひます。模様も綺麗に描かせます。上下のこめには桐の實なご用ひます。

(6) 双六 包装紙の大きいものを臺紙とし、十六切の畫用紙十一枚位に動物づくし、乗物づくし、花づくしの繪等各自に工夫させて描かせ順序に貼り、上り、ふり出しを定めます。

(7) 福笑ひ・かるた かるたは一人一つづつは無理ですから共同製作にいたします。複雑なものでなく、極く簡單にいたします。

(8) お人形 銀香がございましたらそれを頭にする三面白

いものが出來ます。つまり銀香に揚子を通して頭三體にし、それに各自好きな繪を描いた千代紙の着物を着せまます。顔はカゼインの白で塗つた上に繪具で書かせます。又紙を丸めて頭にしたものなごもよろしいと思ひます。

(9) 繪本、豆本 藁半紙半分大のものを四枚つづりまます。自作の畫、又はお伽ばなしの繪等を描かせ、出來たら簡單な言葉並べてもよいかと思ひます。豆本は縦横三厘位を最小限度とし、繪だけ描きまます。表紙は藁半紙でも、又伊豫まさの端紙でも面白く思ひまます。

(10) 紙風船 藁半紙に繪なき描いたもの、又は包装紙を利用して折ります。繪の具を塗る三立派になります。

右は、ほんの一例でございますして、子供の年齢、時、所によつて差異のあるのは當然でございます。此の他に慰問袋は紙袋にて適當の大きさに作り、墨でキモンブクロを書いたものを用ひまます。

此の遊びは取扱ひ方によつてごの様に發展するものと思ひまます。例へば兵隊ごつこご聯關させる事によつて、その規模を大にする事も出來ませう。又實際の慰問袋の方に興味をむけてしまふごも出來ませう。凡てが出來上つた時、この子供達がごちらに強く牽かれます事でせうか、ごもかくも只今は兵隊さんにお送りする喜びを語り合ひながら、一生懸命、楽しく製作いたして居るのでございます。